

情報公開文書

研究課題名	誤嚥性肺炎に対する経腸栄養＋積極的リハビリ介入の限界に関する検討
所属（診療科等）	長崎みなとメディカルセンター 救命科
研究責任者（職名）	早川 航一 （救命救急センター長）
研究期間	2022年 11月 30日 ～ 2023年 12月 31日
研究目的と意義	誤嚥性肺炎に対する経腸栄養＋積極的リハビリ介入の限界を明らかにすることです。限界を明らかにすることで、予後予測が可能となり、患者さんやご家族への予後説明に有用となります。また、より効率的な医療資源の分配が可能となります。 本研究は、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に該当する研究ではなく、傷病の予防、診断、治療を専ら目的とするものです。
研究内容	●対象となる患者さん
	2020年8月1日～2022年12月31日の間に当院救命科で誤嚥性肺炎と診断され治療を受けた患者さんを対象としています。
	●利用する情報
	診療記録（カルテ）から収集される情報は以下の通りです。 研究に利用する情報は、どの研究対象者の情報かが直ちに判別できないよう研究用の番号で管理されます。研究成果が学会や学術雑誌で発表される際も、個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。 診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、使用薬剤（抗生剤）、入院前ADL ・血液生化学検査：肝機能、腎機能、アルブミン値、CRP ・画像検査：胸部単純エックス線、CT
	●研究方法
	本研究は「観察研究」というもので、新しい薬剤や治療法を試験的に行うものではありません。通常の診療で行った経腸栄養やリハビリの有効性や限界に関連する事項について、調査する研究です。 上記の情報をカルテより収集し、下記について検討します。 ・経腸栄養＋積極的リハビリ介入により経口摂取能が回復、維持されるかを検討
情報公開の方法 試料・情報の利用、提供を停止したい場合	本研究に関するご質問等がありましたら、下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することができます。 また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さん若しくは代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象とせずに情報から削除いたしますので、お申し出ください。ただし、データ解析後においてその解析データが公表されている場合は、削除できない場合があります。なお、研究に参加されなくても今後の治療に不利益が生じることはありません。
問い合わせ先	所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター 住所：長崎市新地町6番39号 電話：095（822）3251 （内線3553） 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）